

認定栄養ケア・ステーション柏市連絡協議会提出資料

1. フレイル予防・健康づくり出前講座 <栄養>

大津ヶ丘お互いさまの会 17名

松葉町ふるさと協議会サロン 17名

2. フレイル予防応援プログラム (フレイルハイリスク者支援) <栄養>

フレイルチェックに8個赤丸のついた方に包括作成の支援計画に基づき、アセスメント、支援を実施いたします。運動、口腔、栄養の3つの専門職種が関わります。昨年のフレイルミニチェックでは該当者がおりましたが、今年は1件のみです。食べれる口を作り、栄養を摂り、運動で体力・筋力・バランスを作ることがフレイルのハイリスクを改善するということを実感していただけたらと思います。このコロナ禍において高齢者のフレイル化が心配ですので、専門職で支援していきたいと思っております。東葛北部認定栄養ケア・ステーション6名でサポート致します。

3. 多職種包括訪問事業

上述の3職種で地域包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメントの能力向上を図り、地域のケアマネージャーが高齢者の自立を促すケアマネジメントが出来るように知識を伝達すると共に、毎月1度定期訪問をすることにより、地域課題を共有し、地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるように支援します。栄養士は6か所の栄養ケア・ステーション11人の管理栄養士でサポートさせていただきます。大病院で退院しても、在宅でどのように食事を摂っていったらよいかという案件も増えてまいりました。病院・福祉施設の管理栄養士と同職種連携を持ち、「栄養情報提供書」を退院時支援に出していただき、在宅での高齢者の栄養が滞らないようにと今、動いております。

4. 栄養ワンダー2021の開催

日本栄養士会の栄養の日・栄養週間の日程に合わせて行いました。報告は別紙。栄養ケア・ステーションは、地域住民のための食生活支援活動の拠点です。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けていくために私達栄養士がお手伝いをしたいと思っております。

順次、介護予防、低栄養、フレイルなどを発信していきたいと思っております。

5. 包括主催の栄養講座

柏西口包括 朗らかにここ教室 32名

柏東口第2包括 脳〜び伸び元気塾 25名

6. 社協ほのぼのプラザからの栄養講座依頼

7月 14名 12月 15名